

IRS

伝統を守る

トフィグ・ババエフ、  
歴史の博士号

# ザクロまつり



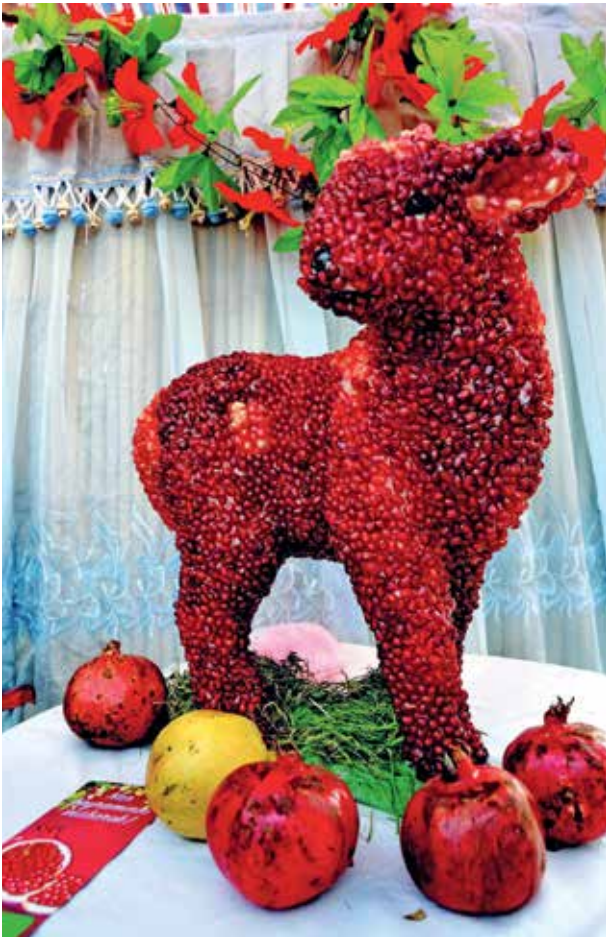
**ザ**クロは、アゼルバイジャンで最も価値のある農作物の1つです。古代では、ザクロは平和の木と見なされていました。多くの人々の信念によれば、ザクロはすべての生物の伝説的な祖先であり、人々に若さと不死を与えています。したがって、アゼルバイジャンや他の多くの人々の神話のアイデアや民間伝承では、ザクロは生命と豊饒の象徴、健康の源として現れ、本当に楽園の果物です。アゼルバイジャンの口承文学では、ザクロは秘密を守りながら、誓いと厳格さへの忠実さの象徴として栄光を与えられています。花、果物、ザクロの葉は、中世のミニチュア、伝統的な布地や女性の衣装、芸術的な刺繍などで、アゼルバイジャン絨毯の装飾のお気に入りの動機として機能します。ザクロ栽培地域のアゼルバイジャン絨毯には、長女にザクロの名前に関連付けられた名前を付けます-Gulnar, Gulnara, Narkhanym, Nargul。アゼルバイジャン人の口頭の民俗伝統には、ザクロに関連する多くの信念、儀式、呪

文、歌、ことわざ、ことわざがあります。伝統的な民間療法では、ザクロとそのジュースは多くの病気の効果的な治療法と見なされています。

昔からアゼルバイジャンは園芸と果物栽培の重要な分野の1つでした。国の園芸文化の証拠の最も古い考古学的発見は紀元前4-3世紀にさかのぼります。そのため、ギラテペとガラガフ(イスマユル地方)の遺跡では、焼けたブドウの種の残骸が多数発見されました。ガバラの古代集落での発掘中に、ナッツ、リンゴ、ザクロ、ナシ、アプリコットなどの残骸、ブドウ、アプリコット、ハナミズキ、チェリープラム、桃の種子が見つかりました。

現代のアゼルバイジャンでは、ザクロはほとんどどこでも栽培されています。振り返ってみると、この文化を育む最も古い伝統は、ゴイチヤイがザクロを育てるという発達した文化で際立っているシルバンの歴史的地域にあることがわかります。ここでは、丘陵地帯にさまざまな土壌がある乾燥した亜熱帯気候で、貴重





な種類のザクロの栽培のための重要な中心地が長い間形成されてきました。アゼルバイジャンのブランド。ギョイチャイザクロの独特の味と香りは、これらの場所にもみ固有の気候と土壌被覆の特定の組み合わせの結果です。何世紀にもわたって、ギョイチャイ近郊でのフォークセレクションを通じて、「グレイシャ」、「バラムルサル」、「ベレス」、「シャーナー」、「アクシリン」など、多くの地元のザクロが飼育されてきました。近年、ザクロ果樹園の面積は体系的に拡大しており、地元の加工企業はその能力を高めています。国営のザクロ加工企業であるAznarCJSCは、米国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、ロシア、ポーランド、ベラルーシ、ドイツ、オーストリア、イスラエルへのザクロジュースの輸出を確立しました。この地域のザクロの実は、何世紀にもわたる伝統を持つ収穫祭の一種であり、近年では一般社会地域の経済回復への取り組みと並行して意図的に復活していることは非常に重要です。

これに伴い、今日、ギョイチャイでは新しい伝統がすでに確立されています。アゼルバイジャンの文化観光省とギョイチャイ地域の行政権の主導により、2006年11月3日に最初のザクロの休日が開催されました。ギョイチャイザクロフェスティバル。それ以来、この休日は毎年10月下旬から11月上旬に収穫時に開催され、非常に人気があります。街の中央広場には、ザクロの実が並べられた巨大なトレイが置かれ、その間に花とザクロの葉が置かれています。ここでは、過去1年間に周辺の村で栽培されたザクロの展示会が開催されます。ザクロジュース、シャーベット、さまざまなソフトドリンク、コシャブ（ザクロコンポート）、ナルシャラブ（ザクロジュースソース）、ナルダッシュ（ザクロジャム）もカラフルな容器に展示されています。

広場の真ん中でお祝いの焚き火が作られます。これは、ゾロアスター教（拝火教）の時代から受け継がれた、生命を与える要素として火を崇拝するという古代アゼルバイジャンの



習慣への賛辞です。その後、演劇の一部が始まります。フェスティバルの主人公であるザクロの王女は、真っ赤なドレスと同じ色の王冠を身に着けて厳粛に広場に入り、観客を迎え、平和と繁栄への願いを表明します。アゼルバイジャンの人々は、ザクロに敬意を表して詩を唱えています。その後、ゲームやさまざまな競技会、ストロングマンや綱渡りのデモンストラーションパフォーマンス、アマチュアアートグループのコンサートがあります。お祭りの日には、街並みや周辺の村々、家の中に、伝統的なお盆や珍味の入った籠などが展示され、最初の収穫からの同じザクロの果実が自慢です。伝説によると、最初の収穫の果物を味わう人はすぐに彼らの最も秘密の夢を実現するでしょう。

ザクロを食べたり、ザクロの果実をすばやく絞ったりするトーナメントが注目を集めています。同時に、ザクロを食べる人は、ベリーが1つもテーブルから落ちてはならないという条

件を順守することを約束します。同様に、果物を絞るときに、ジュースが地面にこぼれないようにします。有名な庭師と農業農場の長は、これらの大会で仲裁人として行動します。受賞者には賞品が授与されます。

市内の休日や近隣の集落では、清潔と秩序が回復し、造園が行われます。プライベートの裏庭には、家族ごとに1つずつザクロの木が植えられています。ザクロは、人生の豊かさや幸福を保証するものとして認識されています。一般的に、古代の民俗や伝統の保存と強化、故郷への愛情の促進、自然の保護という観点から、ザクロの休日の重要性を述べる必要があります。経済的側面の重要性を過小評価することはできません-重要な輸出品目および関連産業としてのザクロの栽培と加工、そして観光業の発展。

2020年、ユネスコの無形文化遺産保護のための政府間委員会の第15回会議で、アゼルバイジャンが提示した「ザクロ祭り、伝統的



な祭典、ザクロ文化」のノミネートをユネスコの無形文化遺産代表リストに含めることが決定されました。人類の文化遺産。この推薦フ

ァイルを適切なリストに含めることは、「ザクロの文化」の保護と将来の世代への伝達に大きく貢献しています。✦

